

令和6年第4回定例会 教育厚生委員会 報告（要点筆記）

議案第88号 令和6年度四国中央市一般会計補正予算（第5号）〔所管分〕

質 疑

○委 員

体育施設整備事業の川之江体育館及び伊予三島運動公園体育館の空調設備設計業務等に係る設計委託料について、詳細を伺う。

○理事者

設計業務としての予算計上であるが、伊予三島運動公園体育館のサブアリーナなどに空調設備が設置されていないほか、川之江体育館についてもメインアリーナなど設置されていない箇所が多い。その中で近年の気温上昇や、直近での南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）の発表もあったことから、防災機能の強化という観点においても空調設備の設置について検討し設計を行うものである。

○委 員

設計期間については、令和7年度までとされているが、令和7年度に向けて空調設備が設置される認識でよいか伺う。

○理事者

設計は、令和7年度にかけて行い、実際の空調設備の設置については、できるだけ早期の設置となるように、工法等も含めて今後検討してまいりたい。

○委 員

放課後児童健全育成事業について、利用状況に対して指導員の人員が足りている状態であるか伺う。

○理事者

放課後児童クラブの指導員については、現在は常時募集を行っている状態である。待機児童が多く発生する最も大きな理由は指導員の不足であり、年度当初には17名の募集を行っていた。その後、9月末までに6名を採用することができたが、十分な人数ではないため、指導員の不足は続いている状態である。

○委 員

指導員が十分に採用できない理由について伺う。

○理事者

放課後児童クラブの指導員の勤務形態については、小学校の放課後となる14時からの勤務であり、夏休みには8時から18時までの勤務となる。このような不規則な勤務形態である点が応募の少ない理由であると考えている。

○委 員

現在の待機児童数について伺う。

○理事者

待機児童数については、12月1日現在で32名である。夏休みが明けると放課後児童クラブを退会する方が多い。

○委 員

障がい者福祉費について、詳細を伺う。

○理事者

障がい者福祉費の主な内訳として、特別障がい者手当等支給事業については、在宅の常時介護が必要な重度の障がい者等が対象であり、12月1日現在で107名が利用しており、当初予算の見込額の不足分を追加で計上したものである。

障がい者医療事業については、障がいのある方が医療行為を施すことにより、障がいを軽減させるための事業であり、令和5年度末で192名が利用している。

障がい福祉サービス事業については、障がいのある方の日常生活等を支援するための様々なサービスを提供している事業である。

障がい児通所給付事業については、障がいのある児童にサービスを提供するものである。

○委員

体育施設整備事業の施設整備工事について、川之江埋立グラウンド整備事業は総事業費3億8,026万5,000円の大きな事業であるが、現在の利用状況について伺う。また、川之江地域には複数のグラウンドがある中で、それらを集約しながら行う事業であるのか、当該グラウンドについてのみの整備事業を進めるものであるのか伺う。

○理事者

川之江埋立グラウンドについては、昭和55年から昭和56年にかけて整備されたものであり老朽化が非常に進んでいる。また、フェンスが低いなど利用可能な競技も限られている状況である。

利用件数については、令和5年度が162件である。

事業については、防球ネットの整備のほか、夜間でも利用できる照明設備の整備も行うため、今後の利用件数は増加すると見込んでいる。また、駐車場の収容台数を増やすことも計画している。

周辺のグラウンドには川之江運動場等があるが、これらを集約する事業ではなく、いずれのグラウンドも利用いただける環境であると考えている。集約については、今後の計画によっては考えられるものである。

○委員

老人福祉施設費について、現在の老人福祉センターの利用状況及び送迎バスの運転手などの人員の配置状況を伺う。また、送迎については範囲の拡大を考えているのか併せて伺う。

○理事者

昨年度の利用状況については、コロナ禍から一段落し、237日の稼働に対して7,134名の利用があり、1日当たり約30名の利用があった。この利用規模は平成30年の水準に戻ってきている。

人員については、会計年度任用職員2名と公益社団法人四国中央市シルバー人材センターから派遣された職員、送迎の運転手の計4名で運営している。

老人福祉センターでは、憩いの場として健康体操、マッサージ、囲碁、将棋、風呂などがあり、火曜日から金曜日までの送迎を行っている。送迎については、マイクロバスで毎日10名程度送迎している。送迎のコースは週に2回、地区割で回っている状況であり、利用者が引き続き使え、利便性の向上にもつながるよう調整及び検討してまいりたい。

○委員

老人福祉施設費県補助金の減額について、介護施設の開設を予定していた事業者が今年度中の事業実施を見送った理由を伺う。

○理事者

本事業について、実施予定事業者は医療用の病床から介護医療院への転換を計画していたが、その検討段階で看護師が退職したことにより、介護医療院へ配置予定であった人員数を確保することができない状況となったため、今年度の実施を見送ったものである。

議案第91号 令和6年度四国中央市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）

質 疑

○委員

財政調整基金について、総額を伺う。

○理事者

10月末現在で、約12億3,100万円である。

○委員

介護保険料について、収入によって金額が異なる中で、その最低額と最高額を伺う。
また、介護保険料の増額、減額の対象者の状況について伺う。

○理事者

介護保険料については、13段階の区分となっており、最低額が第1段階の方で年額2万4,300円、最高額が第13段階の方で20万4,500円である。

また、介護保険料の基準額は据置きであるが、所得段階が令和5年度までの10段階から、13段階に多段階化されたことにより、減額となる方が約1,000人で年額1,200～1,300円の減額、増額となる方が約800人で12,800～55,400円の増額である。

議案第93号 令和6年度四国中央市介護予防支援事業特別会計補正予算（第2号）

質 疑

な し

議案第99号 公の施設の指定管理者の指定について

質 疑

○委員

指定管理料について、総額を伺う。

また、図書館及び電子図書館の利用状況について伺う。

○理事者

指定管理料の総額については、令和7年度から令和11年度までの5年間で11億3,639万2,000円を債務負担行為補正に計上している。

図書館の利用状況については、コロナ禍で利用者数が減少していたが、イベント等も再開され徐々に戻ってきており、電子図書館についても利用点数が増加している。

6年陳情第2号 学校給食の保護者負担軽減を求める、学校給食費無償化を求める陳情意見等

○委員

本件については、他市の状況も見ながら研究を続けたいと考えるため、継続審査といたしたい。

○委員

類似のものを含めて継続審査が続いているが、本市としては採択して国に意見書を提出すべきである。学用品も含めて公が責任をもって無償化を実施すべきものであり、市独自ではなく国が主導で実施することで市にとっても助けとなる。継続審査を行うのであれば、勉強会等を実施してはどうかと考えている。

○委員

今、国の方でも少子化をはじめとした地方自治体の逼迫した状況が論議される中で、本件についてもいずれ国が何らかの予算措置を行うのではないかと考えられる。そのため、本市が現在学校給食費無償化に取り組んでいる状況で、国の動向も調査研究をし、年度ごとに考えていくべき案件であると考え、継続審査といたしたい。

主要事業 「小中学校施設照明LED化推進事業」

質 疑

○委員

事業対象である中学校3校の体育館及び小学校の整備状況について伺う。

○理事者

体育館については、LED化を先行して実施してきており、他の中学校が既に完了している中で、今年度、水銀灯が残っていた3校についてLED化を実施したものである。小学校については、体育館、校舎棟ともに今年度整備工事を実施し完了する予定である。

主要事業 「放課後児童健全育成施設整備事業」

質 疑

○委員

造成工事について、小学校のグラウンドレベルや進入道路との兼ね合いがある中で、寄附をいただき造成する用地の造成の高さを伺う。

○理事者

造成の高さについては、進入道路から1,800ミリメートル程度下がったものとなる。用地については、300ミリメートルの土を取った後に700ミリメートルの盛土を行う予定であり、現時点より400ミリメートル上がることとなり、その高さは運動場のグラウンドレベルと同程度となる。

○委員

土居小学校のグラウンドの排水について、当該用地を造成した場合の境となる部分の排水などの想定される状況について伺う。

○理事者

当該建設予定用地と運動場の間及び東に位置する道路沿いにそれぞれ水路があり、雨水等の排水を両方の水路へ逃がすよう検討している。

○委 員

周辺住民が排水について心配している状況であるため、事業実施に当たっては排水について十分留意し進めていただきたい。